

< 「再び子育て、そして親育て」期：「『いまどきの親は』なんて言わない」編 - 2 >

対象(時間): 中高年などの子育て支援者(110分程度)

たちどまってみて... ~こんな場面で、あなたなら?~

【ねらい】子育て中の親子への関わりについて意見交換し、適切な支援のあり方について考える。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙、(必要に応じて、模造紙、付箋、フェルトペン(裏写りのしないもの)など)

時間	アクティビティの展開例	留意点	備考
：	名札付け(来た順に)	全員が名札をつける。(ニックネーム可)	スケジュールを板書しておく。
：	ファシリテーター(学習支援者)自己紹介、主旨・ルール等説明	和やかな雰囲気づくりに配慮する。 写真を撮る場合は、予め了解を取る。(肖像権)	・机は講義形式
(5分)			
：	アイスブレイク(雰囲気づくり) 「拍手でグループ」	初対面の人同士の場合、自由に意見を出し合うためのウォーミングアップとする。 和やかな雰囲気づくりと、スムーズなグループづくりに配慮する。 歌に合わせて歩きながら！ 例)名前や食べ物の好き嫌いなど。	・机を撤去
(10分)	拍手した回数の人数で固まる。 あふれた人にインタビューする。 数回繰り返した後、5~6人ずつのグループを作る。 グループ内で自己紹介をする。	その間にワークシートを配付する。	・グループ数に応じて、机を配置
：	<エピソードを読みましょ>P2 各自で黙読する。 ファシリテーター(学習支援者)または参加者が読み上げる。	場の情景が思い浮かぶまで読み込む。 エピソードはファシリテーター(学習支援者)が読み上げても、参加者に読んでもらってもよい。(参加者の様子を見て決める) 読みながら「お母さんは何の材料を買いに来たのでしょうか」「さとし君の好きなキャラクターは何でしょう」など受講者に質問しても良い。	
(5分)			
：	<考えましょ、出し合いましょ>P2,3 日頃の行動をふりかえり、ワークシートへ記入する。 5つの行動に順位を付け、グループ内で発表しあう。 グループとしての順位をつける。 グループごとに発表する。	日頃の自分の行動と照らし合わせて、5つの行動を <u>ランキング</u> してもらおう。 多数決によらず、全ての意見を出し合い、聞き合って、グループとして順位付けをしていくこと。	
(30分)			
：	親子の気持ちを記入し、グループ内で意見交流する。	自分の体験と照らし合わせて(思い出して)親子のそれぞれの気持ちを考えてもらおう。	
(10分)			
：	<もう一度考えましょ>P4 「今度こういう場面に会ったら」を記入する。 「こんなこともあった」を記入する。 グループ内で意見交流する。 グループごとに発表する。	日頃の自分の行動のふりかえりとグループの話し合いをとおして、どのような行動や対応ができるのかを考えてもらおう。	
(30分)			
：	<学習を振り返りましょ> ワークシートへの記入 ファシリテーターの話		
(15分)			
：	終了・片付け アンケート記入	参加者全員で行う。 アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰
(5分)			
メモ			